

## コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年9月23日

BMJニュース:すべての16~17才層にワクチン接種を開始する予定:イギリス

### 【松崎雑感】

翻訳ストックが増える一方、優先的に出したい情報に先を越されたため、翻訳済みの1か月前の文献の紹介になります。高校生世代への新型コロナワクチン接種のコストベネフィットについてです。この世代は新型コロナで重症になったり死亡するリスクがずっと低いと、どちらかと言うとハイリスクの大人を守るためにワクチンを受けてください的な主張が多かったわけですが、感染流行が低レベルの時期に限定しても、ギリギリ高校生世代自身を守るためにワクチンを受けた方が良いというデータの紹介です。ロングコロナの問題、ワクチンによる心筋炎誘発の問題を考慮しての結果です。

## BMJニュース:

すべての16~17才層にワクチン接種を開始する予定: イギリス

Mahase E. Covid-19: All 16 and 17 year olds in the UK to be offered first vaccine dose.

BMJ. 2021 Aug 5;374:n1958. doi: 10.1136/bmj.n1958. PMID: 34353813.

イギリスワクチン接種合同委員会は16, 17才を対象にファイザービオンテックワクチンの1回目接種を始めると発表した。

しかし、合同委員会は2回目の接種次期は未定だとしている。委員会は、最近明らかになってきた免疫付与に最適な接種間隔に関する研究をレビューして、2回目接種を1回目の何週後にするかをここ数週間以内に明らかにする意向だという。

おそらく12週目までのいずれかの時期になるだろうが。

8月4日のテレビを通じた記者会見で、合同委員会座長ウェイ・シェン・リム氏は、ワクチンのベネフィットとリスクを、社会全体でなく、この年代の人々にとってどうなのかという視点で検討した結果、ベネフィットの方が大きいことを確認したと述べた。

これまでは、16~17才では、新型コロナに感染した場合に重症化する基礎疾患を持つ場合ワクチン接種をしても良いという方針だった[1]。

彼は「若くとも感染で重症化する人々がいることが明らかになった。酸素吸入だけでなく人工呼吸器治療が必要になる場合もある。ワクチン接種でこのような重症化を防ぐことができる」と述べた。

合同委員会は、1回の接種で入院に至る重症化を80%以上防ぐことができるだろうと考えている。

先月、合同委員会は感染で重症となるリスクを持つ12～15才の人々にはファイザービオンテックワクチン接種が可能となると述べている。

合同委員会の今回の勧告は、国家統計局が、この7月12日の週に実施された血液検査でイギリスの成人のおよそ9割が、自然感染あるいはワクチン接種によって新型コロナ抗体を持っていることが明らかになったとする報告を受けたものである[2]。

この報告は、「ワクチン接種により新型コロナ抗体が付与されることが明らかとなった」と述べている。

## ワクチン接種の遅れは許されない

ロンドンのクイーンメリー大学臨床疫学専門家ディープティ・グルダサニ氏は、合同委員会の決定を歓迎するとともに、「医薬品・ヘルスケア製品規制庁が昨年12月に16才以上の人々へのファイザービオンテックワクチン使用を承認し、これらの人々においてワクチン接種のベネフィットがリスクを明らかに上回ることが分かっていたのだから、今まで接種方針が出されなかったことは許されない」と付け加えた。

グルダサニ氏はティーンエイジャーにおけるワクチン接種のリスクベネフィットを解析したプレプリント論文の共著者であり、その論文では、12～17才の人々ではワクチンのベネフィットが明らかにリスクを上回ると結論を述べている[3]。

米国CDCの手法に基づいて、著者らはイングランドの12～17才の390万人における9月の学校再開前にワクチン接種を行なう事のリスクベネフィットを検討した。

2020年7月から21年3月までのこの年代の新型コロナ感染者、入院患者、死亡者を推定した。

さまざまな感染率を想定した推計の結果、著者らは、ワクチン接種によって防ぐことのできる入院が最大4570名（2021年7月末の感染率に基づく）から最少70名（週当たり10万人から50名の新規感染者発生状況下で）となると推計した。

ワクチンにより心筋炎を発症した人々がすべて入院したと仮定しても、総入院数は減ることになる。

ワクチン接種によって12～17才のロングコロナ（回復後の体調不良）を1万6千人（発症率4%）から3万1千人（発症率8%）減らすことができる（本年7月の感染率に基づく推計）。

研究者らは、ワクチン接種が原因となって入院するリスクは、週当たりの若者10万人あたり30人以下という感染率（これは2021年のイギリスの若者の実際の感染率よりずっと低いレベル）の状況で、新型コロナに感染して入院するリスクをわずかに超える程度であると述べている。